

第2回西脇市特別職報酬等審議会 会議録要点

- 1 開 会 略
- 2 会長あいさつ 略
- 3 第1回議事録の確認
事務局から議事録（要点）の説明
・表現等の訂正
※全委員の承認を得る。（議事録修正後、会長、副会長署名）
※後日、西脇市ホームページに掲載する。

4 協議事項

(1) 市長、副市長、教育長の給料額について

- 第1回審議会では依頼していた各委員の意見集約を行う。
他委員の意見の影響を受けることを避けるため、筆記により意見を集約する。

<市長の給料額について>

意見集約結果

- | | |
|--------|----|
| A 増額改定 | 0名 |
| B 現状維持 | 9名 |
| C 減額改定 | 0名 |

<副市長の給料額について>

意見集約結果

- | | |
|--------|-------------|
| A 増額改定 | 0名 |
| B 現状維持 | 8名 |
| C 減額改定 | 1名 |
| 内訳 | 市長給料の80% 1名 |

<教育長の給料額について>

意見集約結果

- | | |
|--------|-------------|
| A 増額改定 | 0名 |
| B 現状維持 | 8名 |
| C 減額改定 | 1名 |
| 内訳 | 市長給料の70% 1名 |

(2) 議長、副議長、議員の報酬について

<議長の給料額について>

意見集約結果

- A 増額改定 0名
- B 現状維持 7名
- C 減額改定 2名

内訳 3%減額（県内人口5万人未満平均額程度） 1名
類似団体平均程度に減額し、政務活動費を増額 1名

<副議長の報酬について>

意見集約結果

- A 増額改定 0名
- B 現状維持 7名
- C 減額改定 2名

内訳 3%減額（県内人口5万人未満平均額程度） 1名
類似団体平均程度に減額し、政務活動費を増額 1名

<議員の報酬について>

意見集約結果

- A 増額改定 0名
- B 現状維持 6名
- C 減額改定 3名

内訳 3%減額（県内人口5万人未満平均額程度） 1名
類似団体平均程度に減額し、政務活動費を増額 1名
北播4市の平均値を考慮しつつ減額 1名

【意見筆記分】

- 市長、副市長、教育長の給料については、現状を維持しつつ、昨年までと同様に独自減額を願う。
- 今回の議員選挙が無投票となった結果を踏まえ、議員定数を更に2名減員するなら、現状の人件費総額の範囲で報酬を増額してもよいのではないか。
- 議員の期末手当を類似団体程度に減額の上、政務活動費を増額すればよい。

【審議での意見】

（市長、副市長、教育長の給料について）

- 市長の給料については、委員全てが現状維持の意見となっているため、現状維持でよいか。

<異議なし>

- 副市長の給料については、1名が減額を選択しているがどうか。
- 市長と副市長は、仕事量が大幅違うのに、給料の差額が少ないと感じる。
- 行政経験のない市長となり、副市長職は以前にも増して重要となることから現状維持を望む。
- 市長の職責と副市長の職責は雲泥の差がある。裁判ともなれば被告となるケースもあり、一般職との関係でこれ以上差が付けにくいのなら逆に市長の給料を上げてもいいのではないか。
- このご時世給料を上げることなどできない。ただ、行事等への参加の機会は、副市長も結構多い。
- 現状維持でいいと思うが、私から思うとやはり高いと感じる。
- いろいろな意見があるが、意見集約では8名の方が現状維持となっており、副市長の給料については、現状維持でよいか。

<異議なし>

- 教育長については、国の方でも教育委員会そのものをどうするかが大きな問題となっている。
- 教育長の仕事内容は分かりにくい。
- 教育長についても、8名の方が現状維持となっているため、現状維持でよいか。

<異議なし>

結 論

- 市長、副市長、教育長の給料は「現状維持」と決定する。

(議長、副議長、議員の報酬について)

- 議長については、現状維持7名、減額が2名となっているが何か意見はありますか。
- 議長の任期は以前の1年から2年になった。
- 議員定数16人で選挙にならないなら、14人にした上で、モチベーションアップのため、報酬を上げてもいいし、政務活動費を増額するのもいいのではないか。
- 政務活動費を使ってない議員もいるし、使っている議員もいるようである。
- 政務活動費の使い道は限られている。
- 今回の選挙の後、12月議会ของときは議員15人で対応した。議員15人でも議会運営できるのではないか。ただ、議員定数については、この審議会で議論すべきものではないので議会での協議を望む。

- 政務活動費はやはり安い気がする。ちょっとどこかに視察に行けばなくなってしまう。ただ、今は、わざわざ現地に行かなくてもインターネットなどで手に入れることもできる。
- 政務活動費については、一生懸命の方にとっては安い金額と思う。ただ、一生懸命でない方もいる。だからどちらに合わせるのかが難しい。
- 選挙にならなかった原因として、若い者が将来の西脇市を悲観するあまり、立候補に踏み切れない状況があるのではないか。
- 報酬の増額もできないし、政務活動費も足りないくらいの状況であれば、政務活動費の増額も考えられるが。
- いろいろ意見がでましたが、議長、副議長、議員についても現状維持ということによいか。

〈異議なし〉

結 論

- 議長、副議長、議員の給料は「現状維持」と決定する。

(自主減額について)

- 10%とはいかないまでも5%程度は独自で減額して欲しい。
- 職員が約7%減額しているのに、副市長が5%ではおかしいのではないか。
- 給料を減額すれば退職金に影響するとのことであるが、どこの世界に4年ごとに退職金が支払われるところがあるのか。まるで官僚の天下りと同様である。
- 特別職も一般の職員も減額していない市もある。
- 3月末までの減額ということであるが、4月以降は元に戻り一挙に人件費が増えるのではないか。

5 西脇市特別職の職員で非常勤のものの報酬について

〈事務局から資料説明〉

特に、

- ① 他市や国の基準と比較し、選挙管理委員会に係る報酬がどうか。
- ② 審議会等の委員については、その会議が3時間未満である場合は、半額とする規定を設けているが、会議が1時間未満の場合は更に減額する必要があるかどうか。
- ③ 年額、月額、日額の単位について、適正かどうか。
次回協議願いたい。

6 その他

答申書のまとめ方について

- 3 回目の審議会で非常勤特別職の意見具申の後、答申を作成し、承認をいただいた後、日を改めて会長から市長に答申することで了承を得る。
- 第 2 回審議会議事録は、各委員確認後ホームページに掲載する。

< 次回の開催について >

- 平成 26 年 2 月 19 日（水） 午後 5 時 30 分から
生涯学習まちづくりセンター
会議室 2

委員の署名 （会 長）

竹 内 泰 彦

（副会長）

齋 藤 大 紀 雄

平成25年度第2回 西脇市特別職報酬等審議会次第

と き 平成26年2月3日（月）午後4時30分～

ところ 西脇市生涯学習まちづくりセンター会議室2

1 開 会

2 会長あいさつ

3 第1回議事録の確認

4 協議事項

(1) 市長、副市長、教育長の給料額について

(2) 議長、副議長、議員の報酬について

5 検討事項

西脇市特別職の職員で非常勤のものの報酬について

6 その他

次回の開催について

7 閉 会

【委員出席者名簿】

(敬称略)

番号	氏名	選出区分	出欠	備考
1	齋藤 太紀雄	経営者代表	出席	
2	頃安 歌子	経営者代表	出席	
3	黒崎 晃史	経営者代表	出席	
4	神部 靖則	経営者代表	欠席	
5	長谷川 英明	労働者代表	出席	
6	浅野 良一	学識経験者	欠席	
7	竹内 泰彦	住民代表	出席	
8	内橋 昌子	住民代表	出席	
9	辻野 静代	公募	出席	

【事務局等】

氏名	職名
野添 昭子	総務部長
藤原 良規	総務課長
高橋 芳文	総務課人事担当課長補佐
山口 英之	総務課人事担当課長補佐